



代表取締役社長

梶川 勇次

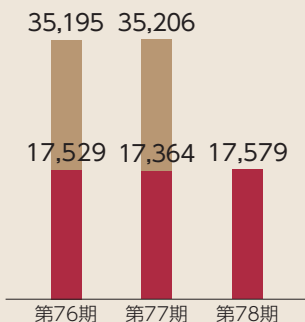
■ 経営環境

当中間連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な企業収益に伴う雇用環境の改善を背景として緩やかな回復基調が続いております。一方で、海外の政治・経済に関する不確実性、原油価格上昇に伴う電気料金の高騰などの経営リスクの増大により先行きは依然として不透明な状況が続いております。また小売業界におきましては、消費者の節約志向が継続する中、ドラッグストアやネット通販など、業界・業態の垣根を越えた競争の激化、さらに人材採用難、人口減少による市場規模の縮小等が加わり、ますます厳しい経営環境が続いております。

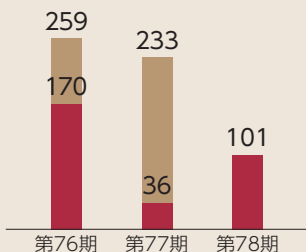
連結決算ハイライト

■ 通期 ■ 中間期

営業収益 (単位:百万円)



営業利益 (単位:百万円)



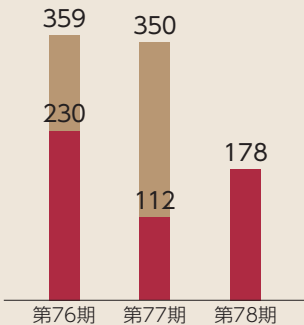
■ 営業概況と業績

このような経営環境のもと、当社グループといたしましては、お値打ちな商品の提供と「お客様へのおもてなし」を重点課題とし、お客様の満足する店作りへの取組みを実施するとともに人員不足や電気料金高騰に対応するため、セミセルフレジやLED照明の導入店舗の拡大など顧客の創造と店舗の営業力強化を推し進めてまいりました。

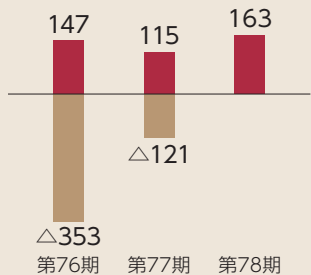
以上の結果、当中間連結累計期間の営業収益は175億79百万円となりました。営業利益は1億1百万円、経常利益は1億78百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は1億63百万円となりました。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

経常利益(単位:百万円)



親会社株主に帰属する
中間(当期)純利益
(単位:百万円)



TOPICS 女性の活躍

CS推進委員会では、「お客様へのおもてなし」を通じ、顧客満足度(Customer Satisfaction)の向上を目的として店舗の従業員教育に力を入れて取り組んでいます。

女性社員4名がチェッカートレーナーとして活動しており、社員・パートタイマーに入社時のレジマナーや接客ルール、OJT教育を行い、従業員の接客レベルの向上を目的とした業務を行っています。

主な活動としては、年に1回チェッカー中級技能認定試験を行っています。レジ技術の速さ、正確さやお客様との対話を通してのおもてなしの心、包装技術を身に付け、その技量を認定することで、チェッカーの中心となって活躍できる従業員をより多く育成していくことを目標としています。



[社会貢献活動]

COMMUNITY CONTRIBUTION ACTIVITIES



工場見学



ジュニア野球教室

—CS推進委員会の取組み—



また年1回、社内全体での店舗のおもてなしレベルを評価する取組みとして「おもてなしコンテスト」を実施しています。店舗の従業員全体で目標を掲げて、一致団結し店舗を明るく活気付け、お客様にとって心地よく、また従業員にとっても生き生きと働ける店舗づくりを行っています。

店舗で働く従業員は一番身近なお客様でもあります。なかでも女性従業員が多く働く職場だからこそ、いろいろな女性目線での繊細な気づきも多くあります。その意見を積極的に取入れ、従業員ひとりひとりが自分の仕事に長くやりがいを持って働ける職場であるよう、サポートしていきたいと考えています。

地域とのより密接な交流を推進するため、「工場見学」「ジュニア野球教室」「農業体験学習」「料理教室」など地域社会に貢献する企業を目指し、様々な取組みを行っています。



農業体験学習



料理教室